

人と自然：環境思想セミナー vol.25

風土の中のうつわ

話し手：柳原睦夫 (陶芸家・大阪芸術大学名誉教授)

聞き手：鞍田 崇 (総合地球環境学研究所上級研究員)

2009.10.26 mon 15:30-17:30

総合地球環境学研究所(地球研)・講演室

聴講無料・申込不要



風土の中のうつわ

20年。いや、もっと昔のことかも知れない。
 いけばな作家の中川幸夫さんが個展を見にこられた。
 しばらく会場を見てまわった後、中川さんは、
 そばにあった私の壺の中にスッと手を入れた。
 無言であった。
 ゆっくりと手を出しながら、こう言った。
 「手の中に入れるのが怖くなるような
 うつわ、を作ってくださいよ。待っていますから…。」

そのやりとりがいつも頭のどこかにある。
 残念ながら中川さんに作品を見ていただくことは、
 今ではもうかなわないが、
 なんもない、からっぽの壺の中の暗闇が
 ますます私の心をゆさぶるようになってきた。

柳原睦夫

■ 関連企画

柳原睦夫 彩器展 ―浮き水指―

2009.10.7. (wed) ~ 10.25 (sun)

ギャラリー田澤 河原町店 (河原町通夷川上ル西側 075-231-8198)

<http://g-tazawa.com>

<http://gxtazawa.exblog.jp>

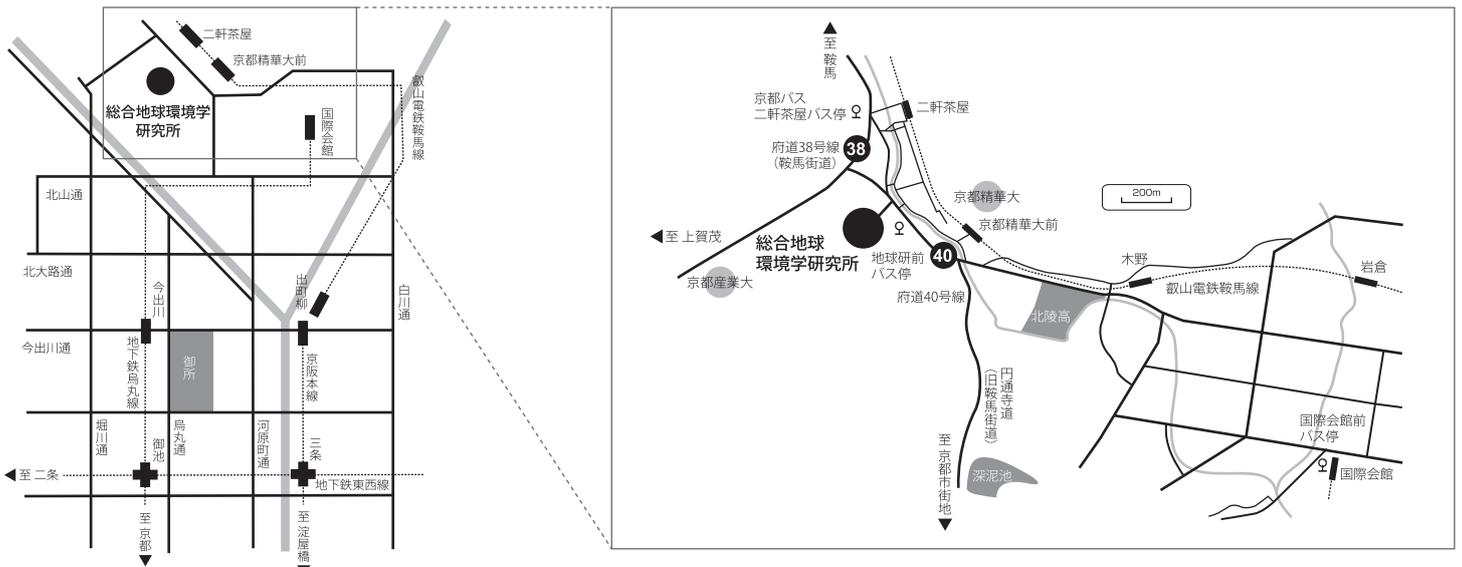


柳原 睦夫 YANAGIHARA Mutsuo 陶芸家

1934年高知市出身。京都市立美術大学(現京都市立芸術大学)工芸科陶磁器専攻で富本憲吉の指導を受ける。1960年同大学美術専攻科修了の後、たびたび渡米し、活動の場を海外にひろげた。ワシントン大学、アルフレッド大学、スクリプス大学で教鞭をとるほか、「アメリカ・カナダ・南米現代国際工芸展」、「韓国陶芸ビエンナーレ」、「台湾陶芸トリエンナーレ」等の審査員を歴任し、各地で講演・陶芸指導にあたる。1971年にファエンツァ国際陶芸展に出品し、ラヴェンナ市商工会議所賞受賞、以後国内外の現代陶芸展の常連作家として活躍。ポップアートをはじめとする現代アートと日本古代のやきものから学んだおろからで自由な精神をベースに、華やかな彩色とユーモラスなフォルムをあわせもつ造形表現を試みる一方で、つねにいまの「うつわ」のあり方を問いかけてきた。

1998年京都市芸術功労賞、2000年京都府文化賞功労賞、2003年日本陶磁協会賞金賞、2005年京都美術文化賞。現在、大阪芸術大学名誉教授、I A C (国際陶芸学会) 会員。

ACCESS MAP



■ JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
 京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から
 京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。

■ 京阪「出町柳駅」より
 叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

※マイカーの利用はご遠慮ください。

聴講無料・申込不要

お問合せ | 環境思想セミナー担当 鞍田崇 (地球研・上級研究員)
 075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催・総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)

次回予告: Vol.26 2009.11.18(wed) 「another view - ランドスケープのゆくえ」
 講師: 柴田敏雄(写真家)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
 総合地球環境学研究所(地球研)
 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>